

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会

## CISPR D 作業班（第 3 回）議事概要（案）

## 1 日時

平成 28 年 9 月 1 日（木） 10：00～11：00

## 2 場所

中央合同庁舎第 7 号館（金融庁） 13 階 1320 会議室

## 3 出席者（敬称略）

## 構成員：

主任 塚原 仁 日産自動車（株）電子技術本部 電子システム開発部 電子信頼性グループ主査  
 主任代理 野島 昭彦 トヨタ自動車（株）電子制御基盤技術部 電波実験室 主幹  
 構成員 植木 信幸 （公社）自動車技術会 技術・企画グループ規格（自動車）課 プロジェクトリーダー  
 大西 輝夫 （株）NTT ドコモ先進技術研究所 ワイヤレスフロントエンド研究グループ主任研究員  
 加藤 秀克 日本放送協会 技術局送受信技術センター 企画部  
 橘高 大造 （一社）電波産業会 研究開発本部 電磁環境グループ 主任研究員  
 前田 幸司 アイシン精機（株） 信頼性技術部 主査（部長格）  
 水谷 博之 日野自動車（株） 車両モジュール実験部 第 4 モジュール実験室ボデー・シャシ電装実験グループ長  
 吉田 秀樹 （株）本田技術研究所 四輪 R&D センター 第 8 技術開発室 第 1 ブロック 研究員

## 事務局：

谷口 智哉 総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電磁監視官  
 柴田 由里 総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電磁障害係長  
 酒井 健司 総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電磁障害係

## 4 配布資料

資料 3-1 CISPR D 作業班（第 2 回）議事要旨（案）  
 資料 3-2 CISPR 杭州会議 D 小委員会 総会 対処方針（案）  
 資料 3-3-1 電波利用環境委員会報告概要（案）（D 小委員会関連）  
 資料 3-3-2 電波利用環境委員会報告（案）（D 小委員会関連）  
 資料 3-4 CISPR 杭州会議 D 小委員会関連会議参加者（案）  
 参考資料 3-1 CISPR 杭州会議 D 小委員会 WG1 対処方針（案）  
 参考資料 3-2 CISPR 杭州会議 D 小委員会 WG2 対処方針（案）  
 参考資料 3-3 CISPR D 作業班 構成員名簿

## 5 議事

- 新しく構成員となった方からの自己紹介（水谷構成員、吉田構成員）
- 事務局から配付資料8点についての確認（事務局）

### （1）前回議事要旨（案）確認 【資料3-1】

- 資料3-1 前回議事要旨（案）についての説明（事務局）  
※修正意見等あれば1週間以内に事務局まで連絡することで承認された

### （2）CISPR 杭州会議 D 小委員会関連対処方針（案）審議 【資料3-2】

- 資料3-2の審議項目1~8、11~16についての説明（塚原主任）
  - テーマはCISPR12、CISPR36、CISPR25の3つである
  - 審議項目7.1について、暗室検証としてCISPR/AとCISPR/DでJWGを行っているか、今後協力関係を継続するか確認する
- CISPR12 第7版改定作業（資料3-2の審議項目9.1）についての説明（野島主任代理）
  - CISPR12は車両外のノイズ要件を規定している
  - CDに対するポイントを資料①~⑩にまとめている
  - 1stCDには大地等価床のリファレンスレベルを入れられなかったため、引き続き理解を求める
- CISPR36 第1版策定作業（資料3-2の審議項目9.2）についての説明（吉田構成員）
  - CISPR36は30MHz以下の妨害派の規定である
  - 6~5月に1stCD、8月に投票が締め切られている
  - 日本からは、WPT充電モードの追加、10m法の追加、試験サイトの規定を提案した
  - 各国の検証結果を持ち寄り、確認する予定である
- CISPR25 第4版改正作業（資料3-2の審議項目10）についての説明（前田構成員）
  - CISPR25は、車、部品それぞれの試験を規定している
  - 変更点は3つあり、充電モードでの測定方法、600V以上の高電圧部品の試験、車載部品の特性検証方法の追加である
  - 現時点で第4版のFDIS発行がなされていないためスケジュールを確認したい

### <（2）の検討>

- CISPR12の大地等価床暗室が合意しなかった経緯も踏まえて御検討いただきたい（事務局）
  - 大地等価床暗室は日本では主流だが、他の国での利用が少なく、欧米は金属床暗室が主流である（野島主任代理）
    - ◇ 日本としては大地等価床と金属床の両方をリファレンスとして決める提案をしたが、欧米からは金属床にも規定を導入するのは困難だと言われている（野島主任代理）
    - ◇ さらに審議をして第7版改定で欧米の意見をまとめていく予定である（野島主任代理）
  - 日本の方が、試験基準が厳しくなっているかについて御検討いただきたい（事務局）
    - ◇ 大地等価床の方が、レベルが低く出る場合もある。一方で、金属床は、位相が合えば大きく出たりキャンセルしたりする。（野島主任代理）
- CISPR36について、日本としては、WPT充電モードを追加する方向で働きかけたい（塚原主任）

- 30MHz以下を測定する新しい規定のため、各国から色々な意見が出ている状況である（塚原主任）
- CISPR25 は第3版が2008年に出ている。第4版の発行は遅れている。杭州会議にコメントが間に合わないのではないか（塚原主任）
  - 幹事にフォローしているが発行されていない（前田構成員）

（3）電波利用環境委員会報告書（案）について 【資料3-3-1、3-3-2】

- 資料3-3-1について説明（塚原主任）
  - CISPR12、25、36の審議状況について簡潔にまとめた資料である（資料3-3-2については同様の内容のため説明割愛）

<（3）の検討>

- 資料3-3-1で、CISPR25の改定について「8月22日時点で発行されていない」と記載があるところ、もし10月上旬に発行されると、FDISのコメントに間に合わないので審議されないということかを踏まえて、記載について御検討をお願いしたい（事務局）
  - コメント投票期間中は審議しない。杭州会議までに発行されない場合、何か課題があるということになるのでWGで議論となるのではないか（塚原主任）
  - 改定スケジュールの見直しが必要である（前田）
  - 資料3-3-1（2ページ）の記載は、発行されていない場合の内容に修正する（塚原主任）
- CISPR25の充電モードはワイヤレスなのか確認いただきたい（事務局）
  - コネクテッドである（前田）
    - ◇ CISPR12はワイヤレス、コネクテッドの両方である（前田）
  - 資料3-3-1で、WPT充電モードとワイヤレス充電モードの用語は使い分ける必要はあるか確認いただきたい（事務局）
    - ◇ 特に違いはない（塚原主任）

（4）CISPR 杭州会議D小委員会関連会議参加者（案）について 【資料3-4】

- 資料3-4についての説明（塚原主任）
  - ※本件は、特に異議なく承認された

（5）その他

- 次の事項についての連絡（事務局）
  - 今後の予定としては、9月13日に電波利用環境委員会が開催される
  - 次回会合は、事務局から構成員にメールで連絡する

以上